

油断大敵!! 2月9日・10日 大阪・私立高校入学試験

3年生は、いよいよ進路決定に向けたチャレンジが始まります。

私立高校の入学試験が明日に迫りました。

しっかりと準備はできていますか。

自分の持っている実力を十分に発揮できるように、睡眠時間の確保と栄養バランスの取れた食事を意識して体調管理に気を付けてください。

また、気持ちに余裕を持って試験に臨むことが大切です。時間にゆとりを持って行動することを心がけてください。遅刻は厳禁です。

1・2年生の皆さんも、勉強に部活動に、そして様々な行事に頑張ってきましたが、いよいよ次の年度に向けてのまとめの時期に入りました。

そこで皆さんに、鎌倉時代の末期、吉田兼好が書いた徒然草という本の中から、「木登り名人」の話を紹介します。



あるところに木登りの名人が住んでいたそうです。どんな高い木でもするすると登り、細い枝も這うようにして登っていき、枝を切ったりするというので都で評判でした。

ある日、この木登り名人の弟子の一人が名人の前で高い木に登り始めました。

下から見ていた人々は、ひやひやしながら見ています。高い木の上に登り、今にも折れそうな枝を這うように登っていきます。あんなところに足をかけたら枝が折れて、まっさかさまに落ちるのではないかと緊張して見ていました。でも、名人は何も言いません。人々は名人が何か注意をするとか、助言をするかと思っていたのですが、何も言いません。

やがて弟子は高い木から降り始めました。そして、地面にもう少しでたどり着くその時に、初めて名人は口を開き「注意しろ」と叫びました。

この光景を見ていた人々は名人に「何で危険な高い所に登っている時に注意しないで、もう飛び降りても大丈夫な所で注意するのか」と聞きました。

するとその名人は、「誰でも高い所に登っている時は緊張もし、落ちないように自分で注意しているものだ。でも、あと少しで降りることができると思った瞬間、最も油断するものだ」と言いました。

皆さんも、『人間はあと少しで終わりだと思った時に、最も油断して失敗するものだ』ということを人生の教訓にして欲しいと思います。特に3年生の人たちは、試験前、卒業前こそ、油断しないよう心を引き締めてください。最後の瞬間までベストを尽くし、有終の美を飾ってください。

学校支援学生ボランティア

来週・2月12日(火)から、学生ボランティアの大学生2名が、本校の教育活動を手助けしてくれます。大阪市学校支援学生ボランティア事業は、教育職をめざす大学生や教育研究に携わる大学生等が、学校の教育活動に参加し、大学生と生徒とのふれあいを通して、活力ある学校づくりの一層の推進を図ることを目的としています。

月曜日から木曜日、2名の大学生には、保健体育科を中心に各教科の授業、卓球部の活動や様々な教育活動を支援してもらいます。皆さんも、遠慮なく声を掛けてください。

木下眞一郎 先生 ・ 都築 里沙 先生

大阪成蹊大学教育学部保健体育教育コース1回生

2年人権セミナー 小峠勇拓先生 講演会

「逆転力～夢を叶える7つの秘訣～」

1月18日（金）5・6時間目、2年生は体育館において人権・キャリア教育講演会を実施しました。講師には「オーダーメイド教育」代表の小峠勇拓氏を招き「人生を変える逆転力～夢を叶える7つの秘訣」をテーマに話をいただきました。

小峠さんは、生まれつきの「重度側弯症」という背中の障がいを負って生まれ、その影響で高校は不登校、大学には進学しましたが、家族にも心を閉ざし、自暴自棄になり、就職もうまくいかず、厳しい生活を過ごされていました。25歳の時、障がいを持った人が強く逞しく前向きに生きているテレビのドキュメント番組を観たことをきっかけに、自分の人生と向き合い、逆境を乗り越えてきた話から、宿命に負けずに夢を叶える力・逆転力について話をいただきました。

脳トレから始まった講演会、写真や動画も交えながらのトークに、子どもたちもどんどん引き込まれ、最後には目を潤ませ感動しながら話を聴いていた人も多くいました。

2年生は、これまでの自分自身を振り返り、未来を自分自身で切り拓いていくために必要な前向きな考え方、人から信頼されるために必要な力、自分を支えてくれている人たち、両親への感謝の気持ちなど、小峠さんの話から学び取ってくれたと思います。

小峠さんから、「子どもたちの聴く力に驚きました」とお褒めの言葉をいただきました。2年生のさらなる成長が楽しみです。



1年スマホ・ケータイ安全教室

1月15日（火）6時間目、1年生はNTTドコモ、都島警察署生活安全課から講師を招き、「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。

始めに、NTTドコモから、SNSやコミュニケーションアプリでよく発生するトラブル、情報公開や知らない人との接触の危険性、安易な書き込みや写真・動画投稿によって被害者になるだけではなく、犯罪者になってしまう危険性もあることなどについて、スライドやショートドラマを見せていただきながら、わかりやすく説明していただきました。

続いて、都島警察署生活安全課少年係長の平野様から、実際に都島区で起きたスマホにかかわる3つの事件について話をいただき、その問題点等について説明していただきました。

スマホや携帯電話の使い過ぎについては、トラブルだけではなく、学力の低下につながることも明らかになってきています。ある大学の研究では、スマホ・携帯の使用が1時間を超えると、使用時間が長いほど成績が低くなるという結果が出ています。また、たとえば家で2時間以上勉強したとしても、3時間以上スマホ・携帯電話を使ってしまうと、「ほとんど家で勉強しないけれどもスマホ・携帯電話を使わない」という生徒たちの方が成績が良くなってしまいうという結果も出ています。その大学の先生は、スマホ・携帯電話を長時間使うことで、学校の学習に悪影響を与える何かが生徒の脳に生じたのではないかと仮説を立てています。

この機会に、ご家庭でも、スマホの使い方、使用上の約束事などについて、十分に話し合っていたいただきたいと思います。未来ある成長期の子どもたちが、トラブルに巻き込まれないよう、学力低下とならないよう見守ってあげてください。

